

会社の 課題・問題の解決・解消 研修シリーズ

■研修シリーズの主旨

会社で発生する「課題・問題」は、経営の問題、管理の問題、実務の問題の様に、職務責任ごとに発生するものや、QCD や安全衛生などの生産計画・管理と実務の状況等によって発生する問題があります。

これらの「課題・問題」の内容で、最近増加しているものに「多品種小量化、短納期化、製品ライフサイクル短命化など」から発生する製造現場の問題などがあげられ、この対応が経営課題となっているケースをしばしば見かけます。今後、この傾向はさらに拍車がかかると予想されるので、それにとまない業務の「問題点」も増加・深刻化するとも考えられます。

本研修シリーズは、お会社において早いうちに製造現場の問題点对応の方法を確立される事を主旨として構成しております。

■研修シリーズの構成

この研修シリーズは、各階層・内容別に、4本の研修で構成しております。

研修名	概要	対象者	日数		
			1日	2日	3日
経営課題・問題の 解決・管理	「経営環境の変化にともなう課題・問題の対応は、できていますか？」経営の課題対応や各種問題の発見・解決・解消の取組みについて学びます。	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長	◎	△	—
課題解決、問題解消、 管理の基本	「管理してありますか、課題・問題を見つけて対処できていますか？」業務における課題・問題の発見、対応・改善、管理を学び、管理体制を見直します。	[管理層] 部長、工場長 課長	△	◎	○
製造現場の問題解消	「現場で発生する問題点の発見・改善・指導は、出来ていますか？」業務における問題の発見、対応・改善、管理・指導要領を学びます。	[管理・改善担当] 課長、第一線監督 者、改善担当者	—	◎	○
生産実務の 問題発生防止 (入門編)	「生産活動において、問題を見つけて対応できていますか？」会社の実務で発生する問題の発見・解決の活動について学びます。	[実務層] 第一線監督者 実務担当者	◎	—	—

※ ◎:メイン(おすすめ)、○:実施可能、△:おすすめしないが実施可能

■経営は団体戦

会社経営は役割分担をして戦う団体戦です。しかし中堅中小製造業では、各階層の役割が全うされていないケースがよく見られます。会社の課題・問題は、職位責任に応じて対応することが必要です。

会社は、団体戦！ 職位・担当などにより、対象となる課題・問題は異なる！！

■研修計画のお勧め

近年、経営環境の変化から、経営や管理が機能していない会社が多くみられます。

本来の意味からすると「課題・問題解消」は、「管理をする事」と同義です。可能ならば、全社の管理体制の再検討を考え、「経営層」→「管理層」→「実務層」の順で、計画される事をお勧めします。

4本の研修は、それぞれ単体でのご依頼をお受けしておりますが、セットでの実施をお勧めします。

社内の各階層で受講する 研修のセット化が 理想です。

[経営者研修]

経営課題・問題の解決・管理

「経営環境の変化にともなう課題・問題の対応はできていますか？」
 経営の課題対応や各種問題の発見・解決の基本について学びます。

■研修の主旨・目的

会社経営は、経営層が目標・方針・戦略・計画などを管理職に示して、その実現状況を経営管理することで、運営されます。そのためにクリアすべき経営課題や生産現場で発生する問題などは、経営管理の仕組みの中で、その都度きちんと解決・解消していく必要があります。

しかし、会社の経営課題は不明確又は管理職に投げっぱなし、現場の問題は実務者のせいにして管理や指導を充分に行っていない経営層が多くみられます。

本研修は、経営層の役割を考え、課題解決・問題解消の改善・管理に有効な体制整備に寄与します。

**経営者は、経営目標実現の為の経営課題の明確化と対応。
 経営計画の実現の為の問題解消を考える事が必要です。**

■研修の概要

経営層は、会社全体を統括・管理する立場なので、今後の経営にかかわる課題等を明確に示し、解決の方法・計画などを管理層に示し、実行してもらう必要があります。

経営目標・戦略・計画等の実現のためにクリアすべき「課題」として、現状の4Mなどに不足等があれば、設備導入や人材育成等をして解決しなければなりません。

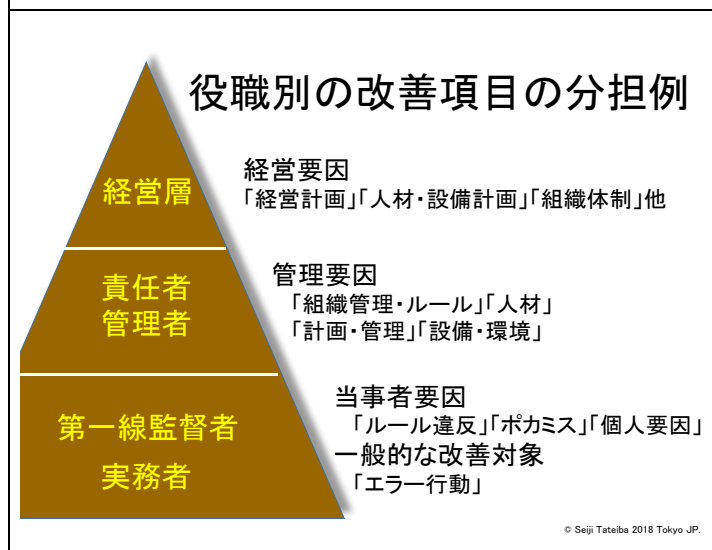
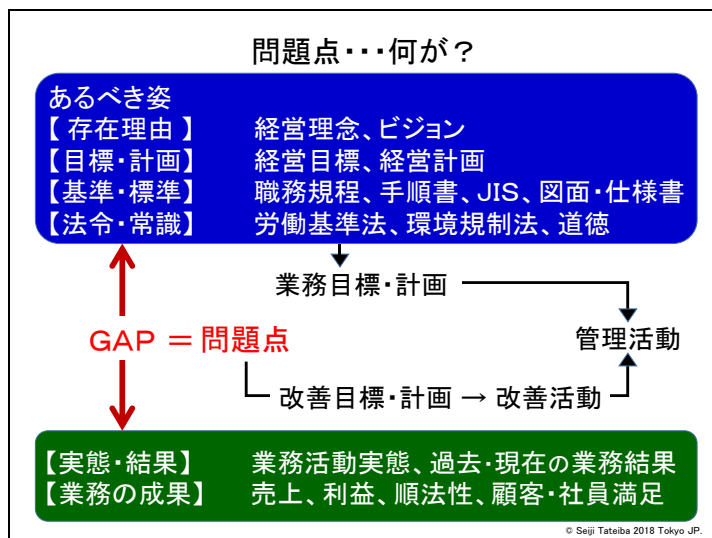
しかし、実際には課題解決は計画性がなく成り行き任せにされている場合があります。

また、生産活動を行うにあたり、品質・コスト・納期・安全等が、計画・設計・基準・標準と異なる結果が生じる事があります。このギャップが解消すべき「問題」で、計画営業は管理職に対応の指示をして解消しなければなりません。

そのため業務プロセスの状況について監視、測定、報告を受けるなどして、発生する問題等を把握し、必要に応じて指示するなどの活動が必要です。

しかし、問題解消は管理者や現場任せになっている様な、経営管理が出来ていない会社も多くみられます。

本研修では、課題・問題の発見・改善の要領を学び、有効な管理体制の整備等を考え、自社の問題点への対応について見直しをします。



[経営者研修] 経営課題・問題の解決・管理


■研修の実施要領

名称	経営課題・問題の解決・管理
内容	経営層の本来の責任と役割と現状について見直し、経営課題の解決と、会社の実務で発生する問題の発見・改善の活動について学びます。
対象	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長
場所	ご指定の場所に講師を派遣します。
実施要領	[1日研修]・・・研修時間＝6h 1クラスmax20名として実施します。 グループ演習を加えて、2日間or3日間研修にする事も可能です。

■研修の内容

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	<ul style="list-style-type: none"> ●経営管理システム 課題・問題とは何か、管理とは何をやる事かなどについて考え、経営管理の基本手順を見直します。 組織の各階層・部門の役割分担、経営管理システムについて考えます。 ●経営課題の取組み 戦略・計画の実現のための課題解決・管理の部門展開の考え方について見直します。 各課の課題は、主に目標・計画に対する現状の過不足について解決を図る事が必要です。与えられた経営目標・計画を実現するための課題を見つけ、計画的に対処する事が必要です。 ●近年の経営課題の例 多品種小量化、短納期化、低価格化などの受注の変化への対応として、自動化・スマート化、人材育成などが課題として挙げられる傾向があります。 ●問題発見の方法と解消・管理の要領 会社で発生する問題は、経営のリスクです。 問題発見の方法、原因究明・要因追及、対応・改善、定着化、管理、指導獲得などの活動を一連の手順として運用することが必要です。 ●職位別の管理 会社・工場の管理、課の管理、各係の実務管理(第一線監督者の指導・監督)などの問題発見・解決など、管理職による組織管理・効率管理等を学びます。 ●テーマ別管理(業務分掌別) 日常の生産管理、進捗管理、品質管理、人材管理などの問題の発見・解決のポイントを学びます。 ●サブシステム・・・人的基盤の整備 業務プロセスで問題が発生しないようにするには、標準化、見える化、5S等の業務の基盤構築。会議、報告・連絡・相談などのコミュニケーションツールの整備。モラル、ルール順守、従業員満足、モラル、モチベーション、風土作りなどの人的基盤づくりが必要です。 	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役

※ 研修の内容は、予告なく変更する場合があります。またご要望により若干のカスタマイズや変更等は可能です。
 ※ 日程を2日間 or3日間研修にすれば、「ケース企業の組織管理検討」や「ケース企業の問題管理体系検討」「自社の振り返り、状況分析、改善の方向性検討」などのグループ演習が可能です。

 <p>株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田</p>	<p>お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。</p> <p style="color: blue; text-decoration: underline;">[お問合せ]</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

[工場管理者研修]

課題解決、問題解消、管理の基本

「業務の管理はできていますか、課題・問題にきちんと対応できていますか？」
業務の課題・問題の発見と、対応・改善、管理について学んでいただきます。

■研修の主旨・目的

工場の管理職は、その名の通り、担当範囲の業務を管理する役割です。

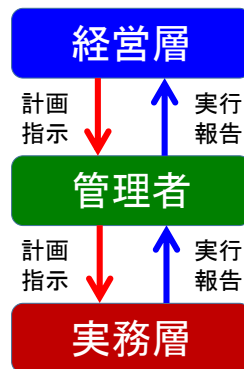
「計画の立案と実現」「資源等の維持管理」などの使命を有し、そのために日常の管理活動の中で課題解決・問題解消の活動を行わなければなりません。

もし管理職が業務の管理をしていないと、作業が現場任せになり、効率低下、不良発生などが蔓延する可能性が高くなります。

また、部品・材料の不足、手違い・勘違い、異品・誤品など、業務を遂行する上で問題が生じるとお客様に迷惑をかけるなどして、取引に支障が出る事があります。

しかし実際には管理者の管理活動が出来ていない会社が多くみられます。経営課題解決は経営者の責任、現場で発生する問題は実務者の責任と考えられている様です。

管理職の役割



【課題解決】

- 経営者が提示する経営計画に対し
- 現状の4M(人・設備・材料・方法)等の体制で実現可能であるか検討
- 過不足の調整を計画的に実行
- 経営者への結果報告

【問題解消】

- 日々の業務計画を実務者に提示
- 実行状態を監視・測定・指導・改善
- 実務で発生する問題に対応・解消
- 経営者への結果報告

課題・問題を発見し、
対処する事が主業務

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

現場の問題がたくさんある ⇨ 管理職が管理をしていない！

本研修では、課題・問題の発見・改善の要領を学び、有効な管理体制の整備等を考え、自社の課題・問題点への対応を見直し、有効な管理体制の整備に寄与します。

■研修のポイント

工場長・課長は、経営目標・計画実現の為にクリアすべき「課題」を明確化し、解決をすることが必要です。自部門の計画実行時に発生する「問題」を発見して解消する。＝ 管理について考えます。

「管理」・・・現場で生じる問題は、管理活動で具現化を防ぐことが必要！

- ◆「計画通りに仕事が進まない(遅れる)」「不良が減らない」「材料・道具が足りないことがある」「現場の間違い・勘違いが多い」・・・これらの問題は、管理の基本ができていないために発生します。
- ◆問題の発見・解決は、具現化する前(事前)に気づいて、対処することが望めます。
- ◆管理職が現場作業などを行ない、本職の問題発見・解決(管理活動)を怠ると、大きな支障が生じます。
- ◆管理職は、「問題発見の3つの方法」を使い分けて、管理活動を十分に行うことを考えます。

管理職の仕事は、経営層からの課題解決と、自部署で発生する問題解消。
現場の問題解消のカギは、管理職が握っている！

工場管理者研修 「課題解決、問題解消、管理の基本」


■研修の実施要領

名称	課題解決、問題解消、管理の基本
内容	管理職の役割を理解し、経営課題の解決と、会社の実務で発生する問題の発見・改善の活動について学びます。
対象	[管理層] 部長、工場長、課長、生産管理など管理的業務を行っている方
場所	ご指定の場所に講師を派遣します。
実施要領	[2日研修]・・・研修時間＝6h×2日 1クラスmax30名として実施します。

■研修の内容（2日間研修の例）

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・管理と役割分担 課題、問題とは何か、管理とは何をやる事かなどについて考え、管理の基本手順を学びます。 ・課題解決は計画と管理 各課の課題は、主に目標・計画に対する現状の過不足について解決を図る事が必要です。与えられた経営目標・計画を実現するための課題を見つけ、計画的に対処する事が必要です。 ・職位別の管理 会社・工場の管理、課の管理、各係の実務管理(第一線監督者の指導・監督)などの問題発見・解決など、管理職による組織管理・効率管理等を学びます。 ・テーマ別の管理（業務分掌別） 日常の生産管理、進捗管理、品質管理、人材管理などの問題の発見・解決のポイントを学びます。 <p>【グループ演習】 ケース企業の管理体系検討と自社の振り返り</p>	(株)IMEコンサルティング 代表取締役 立居場 誠治
二日目	9時30分 ～ 16時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・実務活動の問題点とは何か 生産実務で発生する「問題とは・・・なに?」「問題はなぜ・どのようにして発生する?」などについて考えます。 ・問題発見の方法 管理職の主な役割は、課内で日々発生する問題を見つけて対処することです。ISOでは、問題点を発見するために「監視・測定」と「分析」を行う事を要求しています。 ・問題対応・改善・管理の要領 多くの会社で発生する問題点のほとんどが人に起因しています。ヒューマンエラー対策の手法を中心とした改善のステップを考えます。①現象を取り除く処置、②原因究明・要因追及、③是正処置・予防処置、④標準化、管理活動 ・サブシステム・・・生産基盤の整備 現場の問題点に対応する為、標準化、見える化、5S等の管理の手法。会議、報告・連絡・相談などのコミュニケーションツール。モラル、ルール順守、モラル、モチベーション、従業員満足、OJT、風土作りなどの人の管理について考えます。 <p>【グループ演習】 ケース企業の問題解消検討と自社の振り返り</p>	

※ 研修の内容は、予告なく変更する場合があります。またご要望により若干のカスタマイズや変更等は可能です。
 ※ 1日 or3日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。 [お問合せ]
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

[管理者・改善担当者研修] (現場リーダー育成研修)

製造現場の問題解消

ルールは守られていますか？ 問題点をきちんと受け止め、対処できていますか？

■研修の目的

会社の実務で発生する問題は、実務者のルール順守や手順違反などにより発生します。問題の発見・解消と予防の活動は、管理者・指導者による管理・指導・監督が重要です。生産現場の問題点の発見、是正・予防処置の方法と、適切な管理・指導・監督により予防する郁美を考えることを目的としております。

ルール順守、手順を守る・・・現場の指導・監督が重要！

■研修の概要

製造現場で発生する問題は、不良、事故・災害、故障、失敗などがあり、原因は技量不足、モラル、モチベーション、報告不備など多岐にわたります。これらの問題の注目すべき共通点は、決め事や正解の方法などと異なる事をしてしまったために発生するという点にあります。

本研修では、ルールを守る事の重要性を自覚する事。実務活動に置いて発生する様々な問題点の対策の必要性、発見～是正処置の考え方の理解。指導監督の要領などについての研修を行います。

そもそも「問題」とは、なに？

製造現場の問題 = 正解と実態のギャップ！

- 製造現場においては、指示や指導が正しく行われても、
- 実際にはその基準・手順が守られず、
- QCDや安全衛生に「問題」が発生するケースが多くみられる。
- その結果、様々な支障が出るのが「問題」の困る所である。

計画・基準・手順
(正解の方法等)

←

同じなら「問題なし」
違えば「問題あり」

実態・実施状況

←

© Seiji Tateba 2018 Tokyo JP.

製造現場の問題発生のパターン分析

© Seiji Tateba 2015 Tokyo jp

■研修のポイント

- ◆ 実務者は、業務に対する実行義務、努力義務、報告義務がある。
- ◆ 与えられた業務の指示・標準・基準・手順・その他のルールに従うこと。
- ◆ それに外れる事が問題である。
- ◆ 問題が職務権限を越えるモノ、手におえないモノは、上司に報告する事。
- ◆ 原因究明・要因追及を充分行う。
- ◆ 原因を除去する是正処置、要因を除去する予防処置の実施・定着を徹底する。
- ◆ 第一線監督者の指導監督の要領。

指導監督が重要です

問題点(エラー)が見つかりやすい場所の例

- ・ 第一線監督者が現場にいない職場
- ・ 現場の空気・雰囲気がよくないところ
- ・ 製品のマイナーチェンジ、図面変更などの多いところ
- ・ 選ぶ・探す・数えるなどが多く含まれる作業
- ・ 調整作業(寸法を測り位置を合わせる、計量し重さを合わせる等)
- ・ 仮置き、一時置き、積み替え、移し替え作業が多いところ
- ・ 工程間在庫の多い場所、工程途中での停滞があるところ
- ・ 段取り替えが多いところ
- ・ 5S不徹底の場所と、それに関連する工程
- ・ 材料・部品の不足・欠品があるところ(頻度にかかわらず)
- ・ 定位置が守られないところ
- ・ チョコ停があるところ
- ・ 切粉、廃液などの廃棄物のちらかりの処理が十分でないところ

© Seiji Tateba 2018 Tokyo JP.

[管理者・改善担当者研修] 製造現場の問題解消（現場リーダー育成研修）

■研修の実施要領


名称	製造現場の問題解消研修
内容	業務における問題の発見方法、対応・改善の要領、定着管理について学びます。
対象	[管理・改善担当] 課長、第一線監督者(係長等)、リーダー、改善担当者など
場 所	ご指定の場所に講師を派遣します。
実施要領	1日研修(9:30-16:30 昼休み1h) 1クラスmax30名として実施します。 0.5日×2回 での実施も可能です。

■研修の内容（1日研修の例）

講義で基礎を学習し、グループ演習で自社の問題解消の要領を考えます。

項目	内容	講師
1. 製造現場の問題点	【実務活動の問題点とは何か】 生産実務で発生する「なにが問題なのか?」「問題発生の原因は?」などについて考えます。	(株)IMEコンサルティング 代表取締役 立居場 誠治
2. 問題解消の考え方	【ポイントの理解】 問題への対応は、職務権限が関係する事。問題発見、対応、原因・要因の特定、是正・予防処置の流れと改善の概念。確認動作は、問題による被害を防ぐ最大の砦である事などについての理解を促します。	
3. 問題の発見と対応	【問題点の発見とその場の対応】 指導・監督者が、問題を発見する3つの方法、発見時の対応などについて学びます。	
4. 原因究明と改善	【適切な改善の考え方】 問題点の現象への対応、原因・要因の明確化、改善案の考え方などについて学びます。	
5. 実行と管理	【実績をあげるために必要な管理・指導・監督】 問題点の対策実行と再発を防ぐため、標準・手順を決める、ルールを守る、確認する習慣、第一線監督者による周知、指導監督と教える事(OJT)等の実行と管理を考えます。	
グループ演習	研修内容と自社実態について、グループディスカッションを行い、自職場の問題解消活動の見直しを行ないます。	

※ 研修の内容は、予告なく変更する場合があります。またご要望により若干のカスタマイズや変更等は可能です。
※ 2日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。	[お問合せ]
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------	------------------------------------	------------------------

[生産実務者研修] (入門編：全従業員研修)

生産実務の問題発生防止研修

問題が発生しないように注意していますか？
 発生した問題に対応・改善していますか？
 会社の実務で発生する問題の発見・解消の活動について学びます。

■研修の目的

実務者は、原料・部品・製品に直接関与して作業を行うので、製品のQCDを決定づける役割と言えます。自分が発生させた問題点が、安全衛生、会社の売上・利益・顧客満足などに直結している事の理解が必要です。生産現場において発生する問題点は、作業員自ら気を付ける事、職務権限に応じて対応・改善する事などが重要です。

本研修では、実務者がルールを守る事の重要性を自覚する事。実務活動に置いて発生する様々な問題点の対策の必要性、発見～是正処置の考え方を理解すること。などを意図して、研修を行います。

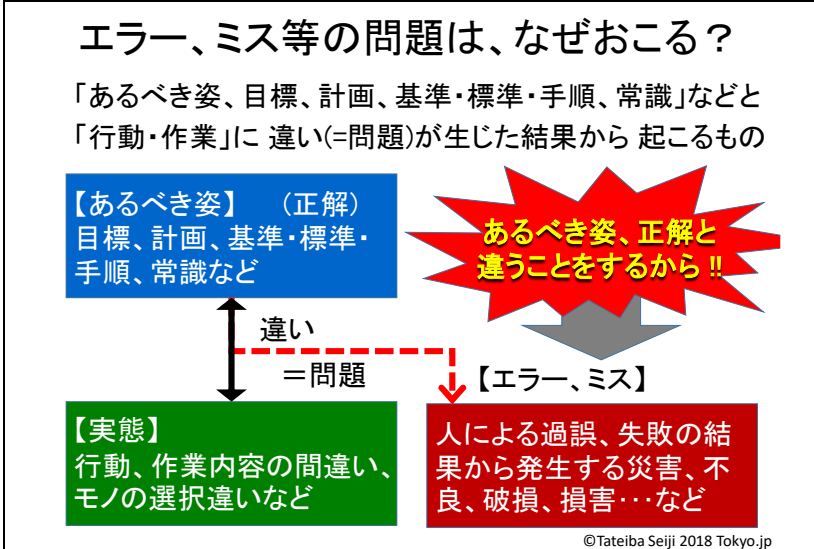
■研修の概要

現場担当者は、「実行義務」「努力義務」「報告義務」があり、与えられた業務のルール、基準・標準、手順等に従い、効率よく作業を行う事が必要です。もしルールなどから外れる事があると、それが「問題」となり、対応することが必要となります。

問題が発生しないように、ルール・手順を守る、ポカに注意する！

生産実務で発生する問題は、「すべきことをしない」「間違っただけをする」「気づくべきことに気づかない」「ルールを守っていない」などの原因で発生します。

本研修では、各自がルールを順守すること。さらに生産の実務に置いて発生する様々な問題点の対策の必要性、発見～是正処置の考え方を理解する事などを意図して、研修・講義を行います。



■研修のポイント

- ◆ 実務者は、業務に対する実行義務、努力義務、報告義務がある。
- ◆ 与えられた業務の指示・標準・基準・手順・その他のルールに従うこと。
- ◆ それに外れる事が問題である。
- ◆ 発生した問題が職務権限を越えるモノ、手におえないモノは、上司に報告する事。
- ◆ 原因究明・要因追及を充分行う事。
- ◆ 原因を除去する是正処置、要因を除去する予防処置の実施・定着を徹底する事。
- ◆ ルール・手順を守り、第一線監督者の指導監督に従う事が重要である。

講義と演習により、問題解消の理解促進

[生産実務者研修] 生産実務の問題解消研修 (入門編)


■研修の要領

名 称	製造現場の問題解消研修
内 容	業務における問題の発見方法、対応・改善の要領、定着管理について学びます。
対 象	[実務層] 第一線監督者(係長等)、実務担当者 (全従業員研修や若手社員研修にも適します)
特 徴	講義で基礎を学習し、グループ演習でシミュレーションし、問題解消の要領を考える。
実施要領	1日(6h)研修 (例 9:30-16:30) 1クラスmax30名として実施します。 なお、0.5日の2回研修でも実行可能です。

■カリキュラム (案)

9:30~ 16:30	1. 生産実務の問題点	【実務活動の問題点とは何か】 生産実務で発生する「問題とは…なに?」「問題はなぜ発生する?」などについて考えます。	
	2. 問題解消の考え方	【ポイントの理解】 問題点の対応として、問題発見～解決の流れと問題解消の概念について学びます。	
	3. 問題の発見、分析、判断	【問題点の見つけ方と対応】 実務担当者が、問題を発見する気づき、発見時の対応などについて学びます。 また 問題対応は、職務権限により、してよい事と、報告して判断を仰ぐことがあります。	
	4. 対応と改善	【適切な改善の考え方】 問題点の現象への対応、原因・要因の明確化、改善案の考え方などについて学びます。	
	5. 実行と管理	【実績をあげるために必要なコト】 問題点の対策実行と再発を防ぐため、標準化、周知・OJT、定着化・管理などについて考えます。	
	グループ演習	ケース企業の問題発生について対応等を検討する。 自職場の問題解消活動の見直しのディスカッションを行う。	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合があります。またご要望により若干の変更は可能です。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。 <p style="text-align: right;">[お問合せ]</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>株式会社 IMEコンサルティング</p>	<p>東京都大田区蒲田 http://www.ime-net.com https://www.facebook.com/IMEconsulting/</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■会社概要

株式会社IMEコンサルティングは、経営・管理の技術開発を行い、製造業を中心とした企業様に、コンサルティングや研修などを通じて経営支援をさせていただいております。

<p>業務開始 1991年3月1日 (日本能率協会を通じて) 創業年月日 1998年8月1日 (直接受注開始) 設立年月日 2001年7月3日 (株式会社登記) 設立会社名 株式会社 IMEコンサルティング 所在地 東京都大田区蒲田 代表取締役 立居場誠治 資本金 1千万円</p>	<p>東京商工会議所会員 蒲田法人会会員 日本能率協会講師 中小企業大学校講師</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・診断システム
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・新製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築 (経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・機械化・自動化・スマート化
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理 (IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理 (工数設備効率、品質コスト)

IMEでは、日本能率協会、中小企業大学校等に、カリキュラム、テキスト、資料等の提供、講師派遣などを行っております。

■講師プロフィール

株式会社 IMEコンサルティング
 代表取締役 立居場 誠治 (たていば せいじ)

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。
 その後、1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等を行い、1998年に独立し、現在に至る。

製造業のコンサルティングを中心とし、経営戦略立案、新製品・新事業開拓、原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。



著書 『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会)
 『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』(コンテンツ堂) など

■研修実施の要領

弊社の各種プログラムを、御社ご指定の場所で研修いたします。
 研修プログラムは、ある程度のカスタマイズは可能です。 また、新規作成も可能です。
 なお、社内研修は、外部研修と比べ、多くの人材が同時に同じ研修を受講し、学ぶことが可能なため、共通の認識・理解が得られ、以降の各種活動がスムーズになる効果があります。

※ 全国各地に出講いたします。(出講した都道府県)

北海道、秋田、岩手、福島、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、愛知、富山、石川、福井、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

以上 [\[お問合せ\]](#)